
【地球と宇宙】

とーよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【地球と宇宙】

【Nコード】

N7986T

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

地球と宇宙と学者の話

学者が言った。

「地球というのは広い宇宙の一部である」

学者が言った。

「宇宙は果てしなく広い」

学者が言った。

「人類は発展し宇宙船を作りました。月へ旅立ちました。着陸しました。月の事が少しずつ分かってきました。しかし！！それすら全て一部であり、我ら地球の人類達は、なに1つ分かってないのといっしょだー！！！！！！」

―その頃―

―全く異なる空間で―

少女が1人お庭で遊んでいる。

「わーい！わーい！イタッ！」…少女は小石につまずき、その瞬間宇宙が揺れた。

地球も揺れた。

それでも

学者は

喋り続けた。

「…えーえ。軽く世界的な大地震が起りましたが、もう1度！ハッキリ！シツカリ！言いましょ！我等地球人は宇宙についてコレっぽっちも分かっていません！」

少女が言った。

「エーンおばあちゃん。この石イターイ」

『イケナイ石だね。この中にポイしな』

…少女は焚き火の中へ石を投げ入れた…。

学者が言った。

「宇宙は永遠に謎なのです！どういうもので！どういう風に！どういう形で存在してるか！それすら全て根本的には謎であり我等人類はその謎を永遠に知る事は出来ないのです！…おや？…急に暑くなってきましたね。エアコンでも入れましょう…アラ？まだ熱くなりますか。アラアラ、まだまだ、どんどん、熱くなる様で…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7986t/>

【地球と宇宙】

2011年10月9日04時51分発行